

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 5 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス ウィズ・ユー加納

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5	来所する児童に応じて配置や支援内容を変えて対応しています。	活動スペースとしては広い方だと思うが、年齢、特性など多様にご利用者様への対応には、十分とはいえないと感じることもあります。
	2	職員の配置数は適切である	5	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0		新しい職員も増えたのですべてのスタッフが関わられるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	アンケートだけでなく日ごろからご利用者様とはラインなど使いやすいツールを使用しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	ブログの更新もしています	自己評価表はホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		外部評価は行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3		定期的に社内研修を行っていますが、今年度に入ってから行っていないので、実施します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		ツールの活用も一部始めています。今後すべてのご利用者様への拡充に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0		チームの取り組みと分担取り組みとしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	毎月、翌月のイベントを予め家族様に共有を行っております。	固定部分と柔軟に対応するプログラムを組み合わせて対協しておりますが、長期休暇中のバリエーションを増やしていければと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		適宜行っておりますが今後より一層の組み合わせを検討しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		昼からの出勤する職員もいる為、全職員での打ち合わせが難しい時には申し送りしておりますが、できるかぎり全員がそろって検討しあえる機会を増やしたいと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2	新入職職員との読み合わせを再度おこないます。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児発管および担当職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	ご家族様を通じて学校からの情報を共有、担当教諭との連絡も都度おこなっています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	×	×		対象児童がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0		ご家族様からの情報提供およびご依頼により連携するケースも増えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	相談支援事業所様を通じて情報共有しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		各センターとの連携はご利用相談程度で今後より一層の連携が必須。児童クラブ、児童館との交流も同様ですが、地域公園へ行った際などに交流があります。協議会へは東大阪市事業所会議に出席しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		主に児発管が中心になるので、できる限り他の職員も参加するようにします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		個別に対応させていただいていますが、全職員がペアレント・トレーニングの実施をできるまでには至っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3		対応を行う職員と行わない職員で差が出ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		今後、検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		
	35	個人情報に十分注意している	7	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	SNSの活用や筆談など	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		以前は、行ったが最近できていないので、実施する機会を設けたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		年間計画を策定し実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	研修の参加を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3		対応が必要な場合には必須。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		聞き取りを行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0		